



2012年3月4日 (第147号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

大切なのは私達が何をやるのかというところではなく、どれだけ愛をその行いにこめるかということです。小さな愛をもって大きな愛をもって

諏訪榮治郎司教が初の教書発表



諏訪榮治郎司教

こんな教会を目指したい -高松教区設立50周年記念に向けて-

諏訪榮治郎司教は「こんな教会を目指したいー高松教区設立50周年記念へ向け」と題する2012年四旬節司教書を発表した。諏訪司教着任以来初の教書となる。この中で諏訪司教は来年度の教区設立50周年に向けて教区優先課題を『地区・ブロックを生きたる協力宣教司牧する教会』『青少年の育成』の二本柱とするこ

教区民の協力によって『福音による愛の共同体』『神の民』の姿がひしひしと感じられたと評価し、1年間を『信仰年』に『私の教会』から『キリストの教会』へと『過ぎ去った教会』へと『過ぎ去らぬ教会』が行われたとする。を始めようとする私たちが派遣ミサで表明された(高松教区)にとって非

優先課題

生きいきとした教会共同体づくりへ 協力宣教司牧広げ青少年を育成

『地区の目標』は今後常に意味のある年となる『具体的に証されていくであろう』と述べる。教区再生と一致の原動力教会共同体をより豊かな福音化へ導く』と期待を寄せる。

開かれた福音宣教態勢

このような前提を述べた後、教書はこれからの教区優先課題を『地区・ブロックを生きたる協力宣教司牧する教会』と『青少年の育成』の二本の柱

『信仰年』を歩む今年、教区再生と一致をさらに進めるため、教書は教区のある方(ビジョン)として『意識・養成・組織』の絶え間のない刷新や改善が必要と述べる。この三要素が互いに補完し合いながら共同体の霊性を高め続けてくれると述べる。

『道』活動の中止通達

また現在教区内で一切の活動中止が通達されている新求道共同体『道』について、これまでの『分裂と対立』に至ったことへの真摯な検証と心からの謝罪がないうちは教区との対話はないと述べ、改めて『道』の活動の一切の中止を通達した。最後に高松教区が取り組むべき課題を述べる。

神学生との集い開催

『青少年の育成』については『教会は人との交わりの豊かな体験を青少年に開かなければなりません』と述べる。青少年を既成の枠組みの中で使

東北大震災復興支援活動 これからが復興のスタート

2012年1月14日(土)岩手県大船渡町に建設を急いでいた東日本大震災復興支援のための「大船渡ベース・地の森憩いの家」の開所式が行われた。開所式を行ったのは大阪教区管区大船渡プロジェクト。管区プロジェクト責任者の諏訪榮治郎司教がローマ訪問中のため京都教区司教大塚司教が代理を務めた。



地のノ森いこいの家

写真撮影の後、早速パーティールームとなり、その間色々と出し物が入りその場を盛り上げた。中には15歳で日本舞踊の名取りを持つ男子中学生(自身も被災してすべてを失った)が『女形』の舞を披露してくれた。

盛大な開所式となった。10月からこれまで築いてきた地域や行政、他のボランティア団体の人びとの関わりを大切に、いま日本の教会が一丸となって東北に繋がろう、繋がらせてもらおうとしていることの中に希望を見つきたい。



宋神学生 高山神学生

大船渡ベース開所 地ノ森いこいの家

14日11時からカトリック教会はこれから被災者に寄り添って司教、司祭と共に歩む決意を表さ団20名、修道された。ミサの後「ふれ者、信徒13 あいタイム」を隣接する0名が集まり、海の星幼稚園で行い、震災で亡くなった地元民を交えて和気あ冥福と被災地 軽食で祝い合った。

の復興を祈る 続いて午後2時から共同司式ミサが行われた。開所式に先立ち大塚司教が大震災からこれまでに説教の中で多大な支援活動を展開

してきたカリタスジャパンに対し岩手県からカリタスジャパン代表者である菊池新瀧司教に感謝状が贈られた。開会の辞、主催挨拶、県知事からの祝辞代読に続き、建築に携わった方がたにも感謝状が手渡された後テープカットに移り、テープが切られると参加者の拍手が湧きあがった。

この開所式には、仮設店舗の人びととお隣さん、地元の社会福祉協議会、今まで一緒に活動して来たNPO、NGOなど、教会関係の人びとを合わせて150人ほどが参加し、

忘れられない志願期でした

宋亨根(ソンヒョンゴン) 高山 徹(あきら)

4月からカトリック神学院へ いつもお祈りとご支援をありがとうございます。神学校入学にあたり、ご挨拶申し上げます。既にご存知だと思いますが、宋亨根・高山徹は、4月より、日本カトリック神学院(通称:大神学校)に入学致します。私達は、ここ四国で、恵みの時を過ごさせて頂きました。本当にありがとうございます。生涯忘れえぬ志願期になると確信しています。「識別は、頭ではなく、現実の生活の中で行う」という溝部脩司教様のお言葉を改めて噛みしめ、ここ四国で沢山の出会い・経験を頂いたことを思い出しております。皆様と出会えたこと、そして出会えた皆様との交わりが、私達にとって喜びでした。未熟ゆえに至らぬことも多かったかと思ひます。

はばたき

高齢者人口は2011年75歳以上が10%を超え、2050年には5人に1人が65歳以上という時代になる。教会も例外ではない。この教会でも信者は高齢化しており、若い人の姿はまれである。幼い子どもたちを目にする、希望の象徴のように胸が熱くなるのは私だけではないと思う。高松教区は「主の声に耳を傾け生涯を捧げて奉仕する司祭、修道者への召命の道を若い世代に力強く呼びかけます」と神に祈っている。しかし高齢社会は、もうそこに迫っている。その間、高齢者が果たす役割が問われる。昨年大災害の後、作家、ミュージシャンなど多くの人達が「私に出来ること」を問うてきた。「絆」とともに、心に刻む言葉だったと思う。年をとると、人は出来ることと出来ないことがあるのを判然と知らされる。少し前までは楽にできたこと、あるいは頑張れば出来たことが出来なくなる。無念である。と同時に、若いころには出来なかったことが出来るようになったという嬉しいことか。私についていえば、時間をかけての取りなしの祈り、辛抱強い傾聴は、若い時には決して出来なかつたことだ。高齢者の一人として、生かされている限り「私に出来ること」があることを信じた。ご復活を待つ四旬節の日々、主よ、僕は聞いておられます。どうぞお話し下さい、と祈り耳を傾けたい。

小教区紹介

西条教会 (愛媛)

JR伊予西条駅から北に延びる駅前通りを350メートルほど行き、右手の路地に入ると、右の白く教会らしさが眩しい西条教会がある。

敷地内にはアノール歌手・秋川雅史氏も通ったロザリオ学園・西条聖マリア幼稚園があり、日曜日の運動場は信徒の駐車場として解放されている。主日のミサは11時30分からの1つだけだが、お邪魔した日曜日にはミサの前に第1回目の信徒養成講座が開かれていて、西条教会担当司祭であり、前教区典礼委員長の稲毛利之師による典礼講座に信徒11人ほどが参加し、熱心にメモをとっていた。



子供たちの存在は大きく、毎土曜日の教会学校にはお隣の聖マリア幼稚園卒園児や近所の子どもなど、未信徒の

いつも子どもたちの声が響く



児童などが半数の全体で20名ほど集まり、子供たちの声が響き、希望に満ちている。

聖堂が献堂されて50周年目の2001年に信徒会館が新築され、毎月1回開催される西条市内キリスト教会朝禱会などが行われ、今年のキリスト教一致祈禱週間の会場ともなっている。信徒の方々が口をそろえて誇りとされている西条教会の長所と

例会として、翌主日ミサの3つの朗読についての「みことばの分かち合い」が行われており、この分かち合い時には子供のそれも同時進行しているという。

教区内の小さな小教区は特に高齢化が目立つ中、ミサ参加者30人弱の半数は子供が占めている。この日は子供

谷口広海

戦後40年間教会のため働く

桜町教会

あきら

清水 昭 さん(82歳)

ひと

宇和島教会ご出身の清水昭さんは高松教区事務所、桜町教会に終戦後約40年間お勤めになりました。皆さんへの窓口となり、何はともあれ「清水さん、清水さん」と頼られながら、お人柄のため、PTAの重責も果たされつつ、ご多忙な日々でした。

手先が器用で、私の初聖体記念のロザリオが切れてしまい、それを編み替えて頂いた時の見事な出来栄に驚いたりもしました。また、蓋が蝨虫の殻を使ってモザイクのように装飾する珍しい技術で作られている可愛い小箱を頂いたことも



清水さんご夫妻

ありました。当時被昇天修道院の離れで世話になっていた母が手紙を書くのが好きでしたので、記念切手が発行される度にいつも、何回も列に並んで買ってきて下さっていました。時には郵便局の方から「清水さん！いい加減にして下さい」と、たしなめられたという話もありました。私の母の為にどうも済みませんでした。九州にいた頃に私は時々、子どもたちを連れて、母の下に行っていました。そんな折、末の娘が腹痛を訴えたことがありました。清水さんは即、娘を車で小児科医院へ担ぎこんで下さり、事なきを得ました。今、3女の母となっているその娘は「清水さんは命の恩人」と私共々感謝しています。「清水さんの仇名は『聖人』よ」と、母がいつも言っていたのを、よく思い出します。感謝の念でいっぱいです。

宇和島教会 中平龍子

去る1月14日(土)高知市の江ノ口教会において、第3回「女性の会大会」が開催された。晴天に恵まれ、四国4県の教会から114名の女性(数人の男性)信徒、中には求道者の方、目の不自由な方も参加して下さい、非常に有意義な大会となった。今年のテーマは「聖書から女性の使命」マタイ福音書の系図に登場する女性」と題して、カトリック中央協議会社会福音化推進部のシスター石川治子氏を講師にお迎えした。

シスターは最初に「社会とかかわるという事で心がけている



教会の歩みについても触れられ、2月末発行のカトリック中央協議会の冊子「教区社会」も紹介された。一部で

「神さまがなさりたい業に私がどのように参加できるのかを、わからせて下さい」と祈っていくことが大切なことと、パチカソ公會議50周年を迎える日本の

午後にはグループに分かれて「神様は私達がどのように信仰を生きることを望まれているか」について分かち合った。お元気で過ごされている溝部司教様との再会を喜び、14時から溝部司教様、オフレイト会のイル神父様とブルゴアン神父様による感謝の祭儀の中でこの大会のお世話を下さった高知地区の皆様にも感謝しながらこの大会を締めくくった。

シスター 高松常子

詩 海がある

お父さん お母さん
あなた方の目を見てみると
海が見えて来る

ぼくの哀しみ
みんな柔らげて
包んでくれる

あなたの方の目の中には
やさしいマリアという海がある
偉大なイエスという海がある

ちよんちよん

『典礼奉仕』のために ⑮

高松教区典礼委員長 レナト・フィリッピニ

反面教師の態度から学ぶ

司祭は、日曜日だけではなく毎日、ミサをたてます。いくらか熱心に心をこめてミサを捧げていても、毎日、毎日曜日を重ねてくると、必ずいくつかの癖が出て来てしまいます。私が神学生の時、ミサの授業で1人ひとりが模擬ミサを録画して、互いに評価したり、問題点を指摘したりしていました。私は神父になって今年で15年目になりましたが、運転免許と同じように数年ごとに自分がミサを立てるビデオを信徒たちと一緒に観て評価出来ればなあと思っています。ひとりの司祭として、自分のやり方を振り返ってみると、いくつかの癖に気づきます。反面教師として、どなたかの役に立てれば幸いです。

1. 十字架の挨拶「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんと共に」「また司祭とともに」という挨拶を会衆とかわした後「おはようございます」や説教の最初に「皆さんこんにちは」といった世間的な挨拶を入れないように。

2. 2つのことを同時にやらないこと。たとえば、会衆が「感謝の賛歌」を歌っている間に奉献文を探していたりすると、司祭が慌てて式を進めようとする。戻してみると、いくつかの癖に気づきます。反面教師として、どなたかの役に立てれば幸いです。

3. いつも第2奉献文だけを唱えないように。奉献文は、4つあり、日曜日は他に

4. 沈黙を大切にすること。「祈りましょう」という招きの後、聖書朗読の後、答唱詩篇の後、説教の後、聖体拝領の後、共同礼拝の恵みを思いめぐらすための時間を大切に。

5. 平和の挨拶を不適切に行わないこと。聖体拝領前に互いに和解除来るチャンスです。平和の挨拶が終わるのを確認してからパンを割るようとする。そうしない共同礼拝は互いに挨拶をする機会を奪われる。逆に、時間を使いすぎないこと(典礼を中断させる)。祭壇から降りて挨拶を交わす間、信徒たちは司祭のパフォーマンスを見ることになる。司祭は侍者たちと平和の挨拶を交わすように勧められている。信徒たちが周りの人々と十分に挨拶できる

「神さまがなさりたい業に私がどのように参加できるのかを、わからせて下さい」と祈っていくことが大切なことと、パチカソ公會議50周年を迎える日本の

は何か、教会は社会問題にかかわるのか。二部では具体的に様々な質問に答える形をとって、政教分離、正義と平和、沖縄問題、死刑制度、原発などに對する教会の関わりが、わかりやすく書かれているとのこと。

午後はグループに分かれて「神様は私達がどのように信仰を生きることを望まれているか」について分かち合った。お元気で過ごされている溝部司教様との再会を喜び、14時から溝部司教様、オフレイト会のイル神父様とブルゴアン神父様による感謝の祭儀の中でこの大会のお世話を下さった高知地区の皆様にも感謝しながらこの大会を締めくくった。

シスター 高松常子

若い力

聖信の勉強をして感じたこと

江ノ口教会 前田 恵莉亜

私は聖信の意味があまりよく分かっていませんでした。母に「もうそろそろ聖信を受けようか?」と言われて、めんどくさいなあと思いつつも、須崎から教会がある高知まで来ていました。



前列左から2人目 前田 恵莉亜さん

今まで私は神さまなんて居るか居ないか分からんじゃん! と思っていて、親も片方信者じゃないし、あからさまに機嫌が悪いときは、教会に行きたくないと、泣きながら訴えたこともあり。ちょっとした反抗期でした。でも聖信の勉強をしているうちに、神さまって本当は居るかもしれない、と思うようになりました。勉強を4回受けて、秘跡は7つもあるとか、聖霊ってなんだろ?とか、結婚がなんで秘跡に入るんだろ?とか、神父さまのことなどを聞いたりしてきました。

今度のことで感じたことは、私は今まで自分にあまり自信がなくて、顔も性格も良くなって、変わってしまいたいなと思っていました。でもだれにでも特技があるし、いけないところ(短所)もあり、それでもそれを抱えて生きているんだと考えるようになりました。自分にはよい音感があるし、みんなの(友だちの)なやみごとを真剣に聴くこととかがあります。相談されたあとに「恵莉亜に相談して良かった!ありがとう!」と言われてうれしかったことがあります。この長所を人のために使っていきたいと思います。

大船渡ベースで貴重な体験をしました 被災者のふとひた一言

江ノ口教会 秋山奉裕 (とむひろ)

始めにボランティアに参加するにあたりご尽力くださった皆様および支援して頂いた高松教区サポートセンターに心から感謝申し上げます。

私は大阪教会管区の大船渡ベースキャンプ「地ノ森いいの家」で20日間ボランティア活動をしてきました。被災地ですぐ目にしたのは壊滅した街の姿でした。打ち上げられた漁船、剥き出しになった基礎、寸断されたままの線路。本当に震災から11ヶ月が経過しているのかと目を疑いました。復興ではなく、復旧作業が今なお行われているのです。それだけ今回の津波のもたらした被害が甚大だったのだと改めて痛感させられました。

ボランティア活動を通して本当に様々なことを経験しました。被災地の現状、課題、地域の方との交流、全国から集まったボランティアとの出会い、全てのことを書き記すことは出来ませんが、自分なりに見たもの感じたことを少しでもお伝え出来ればと思います。

ある仮設住宅で足が不自由な方に車椅子を届けた時のことです。昼間だったのですが、80歳前後のひとり暮らしのご老人がベッドで寝ておられ、声をかけても生気が無く反応が薄かった印象がありました。ご老人と話をしながら車椅子に乗って頂き感触を確かめて貰いました。時間にして10



数分だったと思います。先ほどまで反応の薄かったそのご老人に急に生気がもどり、生き生きし始められたのです。その瞬間、私はご老人がどのような生活をされているのかが手に取るように解りました。普段まったくと言ってよいほど周りの人々との交流が無かったのです。

この仮設住宅では2週間に1度だけお茶をする機会を設けていることです。考えてみてください。ご高齢の方が1人で生活をし、見ず知らず同士の人間が集められた仮設で暮らしているのです。どれだけ心細く侘しいことか。地元の方の話では高齢者のひとり暮らしは珍しくないそうです。



秋山 奉裕さん

2つ目はある漁港へ漁具作りのボランティアに行った時のことです。漁具作りを手伝っていると一人の男性が来られて「ありがとうございます」と深々と頭を下げられるのです。「大したことは出来ていませんが」と答えると、「あなたたちボランティアは大したことは出来ていないと言いますが、ボランティアの方が手伝ってくれるから私たちは海に出て本来の仕事が出来ているのです。ボランティアの方が1人来て頂けるだけで復興のスピードは2倍にもなるんですよ」と笑って答えてくれました。ボランティア活動に対して無力感を感じていた時でもあり、その言葉に救われた思いです。

今回被災地を訪れて本当に貴重な体験をしました。震災から1年を経て、遠方の地、日常を取り戻した地域では徐々に震災の記憶が薄らいでいるように感じます。復興にはまだまだ時間も人も足りません。改めて被災者のために祈り、被災直後の助け合った気持ちを思い出しながら復興までの長い道のりを支えあって欲しいと心から願っています。

「福島の子ども達、香川へおいで」プロジェクトに参加して

桜町教会では夏休みが続いて冬休みも福島の子ども達を香川へ招く活動に参加しました。放射能被ばくに脅えながら子どもを育てざるを得ない方々がどんな思いで日々を過ごしておられるか。招きに応じて、遠い四国の地に応募されたのは40名定員に対し、160余名。たとえ10日余りでも危険な福島を離



子どもたちの笑顔が救い

れたのだという事を肌で感じました。夏休みには五色台の自然の家を招いたのですが、冬休みは、さぬき市の

「みろく公園」のログハウスにお招きしました。地元の方々や青年達、多くのボランティアの奉仕で無事、全日程を終え、大変喜ばれ、1月8日朝、福島へ帰られました。桜町教会は、1月4日、5日の夕食作りをマリア会の20余名により奉仕しました。材料の買出し、教会の厨房での下ごしらえ、現地での仕上げと手順よく行われました。4日は、パエリア、スペインオムレツ、スープ、5日は牛丼、ナムル、味噌汁です。また、子ども達の見守りや、対応にはマリア幼稚園の先生方や、信徒が2日間奉仕しました。現地の人たちに出会い、交流することのできる貴重な機会を与えられたことを本当に神に感謝しています。皆様からの献金は、夏と冬合わせて30万円余りをプロジェクトに届けることが出来ました。

桜町教会 米澤南美子

この地域の人たちは家も財産も流されて集まる場所もありません。昔からの地域共同体がばらばらにならないように、ここがこの共同体を繋ぐ中心拠点になってほしい。チリ地震津波の時やこれまで、外からの支援は殆ど有りませんでした。当時、唯一この教会で司牧しておられたベトレ

「辛い中にも明るい展望が見えてきているようにですね。もう一つこれまでに人生の中でこの津波が山浦氏にもたらしたものがあつたららば、それは何でしょうか。」

私は津波の歴史を生きて来ました。80歳になる方々は3度の津波を経験し、3度も家を流された人もいます。辛い経験ではあるけれども、来るべきものが来ただけという事です。「どうして神様はこんなひどいことをするの」というような考え方は気仙に生きる人にはありません。

「本当に含みのあるお話を頂き、ありがとうございます。聞き手 谷口広海」

大船渡ベース立ち上げには色々と言頂きます。やっとならば完成し、これから活動が本格化すると思いますが、大船渡ベースへはどういう想いをお持ちですか。

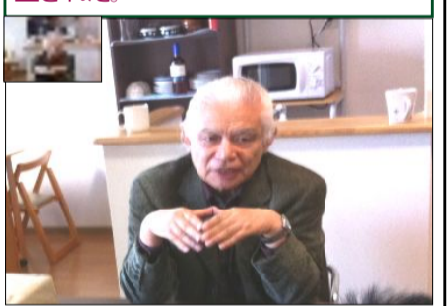
へム宣教会のスイス人の神父様が、故国スイスの信徒に援助を仰いで、お風呂と宿泊所を備えた集会所を、市内に4つ建てて「いいの家」として住民に開放した歴史があります。それが今では公民館として利用されています。今回もカトリック教会が市民の一人としてここに根付き、末永く付き合っていければと期待しています。

「辛い中にも明るい展望が見えてきているようにですね。もう一つこれまでに人生の中でこの津波が山浦氏にもたらしたものがあつたららば、それは何でしょうか。」

東北の人間は辛抱強いと言われていますが、東北の人が言う「辛抱」というのは、いつまでも際限なくじっとしていることではなく、苦難を乗り越えて新しいものを作り上げていくということなんです。ですから苦労して家を建てた時「よく辛抱したね」といつか祝福します。我々はまた辛抱しますよ。

地域共同体制へ中心拠点を山浦病院長 ベース開所語る

山浦 玄嗣 (やまうら はるつぐ) 岩手県大船渡市出身の医師。山浦病院病院長。ケセン語の提唱者として有名。カトリック大船渡教会信徒であり、キリスト教関連の著書も多数。「ケセン語訳聖書」はギリシア語の原典から翻訳し、ローマ教皇庁に献上された。



もうひとつ新しい状況があります。フィリピンからお嫁に来た方がたくさんいます。夫が未信者という方もあってこれまでなかなか連絡が取れずいました。奇しくも今回の津波がお互いの連絡を繋ぎ集めるきっかけになりました。

「地球には地球の営みがありますから、私たちはその地球と共存出来る道を求めなければならぬということですね。」

食べる青唐辛子 絶賛好評発売中! 株式会社 サンクウフーズ TEL 0879-82-0430 FAX 0879-82-1102 URL http://sankou-foods.com E-mail shodoshimasankou-foods.com

住環境福祉コーディネーターが家造り 福祉住環境リフォーム 高齢者・障害者に配慮したバリアフリーの住宅 福祉住環境リフォーム・新築・増改築工事・設計施工 有限会社リフォームオオタ 代表取締役 太田 修 TEL 0877-28-0881 FAX 0877-28-0190 E-mail o-chandazo@theia.ocn.ne.jp URL http://www.reform-oota.co.jp

医療法人社団聖心会 阪本病院 看護師・准看護師 随時募集中です! 院内保育園開設 ご連絡をお待ちしています。連絡先(事務局) 0120-770-315

医療のともしび (31)

医学生の時にマザー・テレサがノーベル平和賞を受賞しました。受洗して間もないわたしには目標となりあこがれとなりました。医者になってインドのマザーハウスにボランティアに行き、

マザーテレサに「あなたのカルカタを日本でさがしなさい」といわれてから、小児科医として接する障害児たちが私のカルカタとなりました。今、やっとマザーテレサとの約束が形になろうとしています。医学生の時にカトリックの信仰の恵みをいただいたことを感謝しています。小児科医 岡澤朋子

愛 媛 新 聞 2012年(平成24年)1月6日 金曜日

障害児の幸せ応援

愛南の医師 夢の児童デイ開設へ



自身のクリニックで開いている療育を見守る岡澤さん(右)と児童

愛南町御莊平城の小児科医岡澤朋子(63)が4月、家族の後押しを受け、町内に児童デイサービス施設を開設する。これまで町内になかった小学生から20歳までを対象にした施設で、小児科医と

保育所(岡澤御莊)を町から買い取り活用する。スタッフは常勤3人、パートの計4人で、特別な訓練は行わず、日常生活を送るための工夫が身についている。岡澤さんは「障害があっても幸せになれるんだ」とも話している。

教区スケジュール

- 3月
3日(土) (拡大) 宣教司牧評議会(愛媛) 15:00
4日(日) 四旬節第2主日(拡大) 宣教司牧評議会(愛媛) ~15:00
5日(月) 司祭集会準備会in坂出
11日(日) 四旬節第3主日「東日本大震災1周年」
14日(水) 司祭評議会・春の司祭集会in北条カタリナ・セミナーハウス
15日(木) 春の司祭集会(2日目)
18日(日) 四旬節第4主日
25日(日) 四旬節第5主日
4月
1日(日) 受難の主日(枝の主日)
4日(水) 聖水曜日(山下師命日) 聖香油ミサ11:00
5日(木) 聖木曜日
6日(金) 聖金曜日
7日(土) 聖土曜日
8日(日) 主の復活の祝日
15日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
21日(土) 教区子ども&中高生の集い(香川~22日)
22日(日) 復活節第3主日
23日(月) 広島・高松教区司祭交流会in岡山
25日(水) 聖マルコ福音記者
29日(日) 復活節第4主日

3月11日は東北大地震1周年になります。行方不明の方や亡くなった方々のご冥福を祈りましょう。

新刊書籍

なぜ教会は社会問題に関わるのかQ&A



「なぜ教会が世俗の問題にかかわらねばならないのか」との疑問を抱く信徒は数多くいます。本書は、教会が福音化のため

社会問題にかかわる意味を信徒に説く司教の責任の一端を果たすべく編まれました。

Q&A形式を採用し、信徒が現実に抱えている疑問に、可能な限り応えることを目指しています。

B6版並製144ページ 定価630円(税5%込) カトリック中央協議会発行

『なぜ聖書は奇跡物語を語るのか』



多くの人が聖書の描く奇跡物語に抵抗を感じている。しかし、このような話が聖書に書かれていることには意味があるのでは

ないだろうか。奇跡物語を理解するためにはどう考えたらいいのだろうか「第一講：聖書という本」「第二講：自然奇跡」「第三講：癒しの奇跡」「第四講：悪霊追放」の四講話を収録。

雨宮 慧 著 四六判・158頁定価 1260円

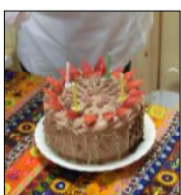
高松サポートセンター(TSC) だより

「お米券」キャンペーン続行中!!

東日本大震災から1周年を迎えます。未だに4000人程の方の行方も分からず、捜索も続いているとの報道がなされています。私達は日本のみならず世界中が支援復興に力を注いだことを知っていますが、やはり時間の壁は厚く支援活動、ボランティアも減少傾向にあります。この機を借り改めて、細くとも長く寄り添って行きたいと願っているTSCへ、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。1月14日の大船渡ベース開所式の折には額面102万5000円分のお米券を贈ることが出来、大変喜んでいただきました。キャンペーンは2月を目途としていましたが、これからも続けて参りますので宜しくお願い致します。

ボランティア申込受付中!!

ボランティアは支援の大きな柱です。この先季節も次第に暖かくなって参ります。皆様の積極的なご応募を心から期待しています。



2月11日の活動「お茶っことバザー」
本日は、シェフの方を迎えてお菓子作りを行いました。20名近い方に来訪して頂き嬉しかったです。バレンタインデーも近いということで、チョコ尽くしました(*▽*) (大船渡ベース 地ノ森いこの家より)

編集後記
2月22日の灰の水曜日に入り、水曜日から四旬節に入りました。これまでに東日本大震災関連で寄付や献金など、ご協力をお願いした。四旬節は、ご協力をお願いした。四旬節は、ご協力をお願いした。

聖ドミニコ宣教修道女会
神を觀想し、その実りを人々に伝えよ
Image of a church interior with people participating in a service.

告知板
東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
2012年3月11日(日)
カトリック桜通教会聖堂
14:30開演 14:00開場
大人 2000円
高校生以下1000円
道後教会聖堂
13:00開演
コンサートは無料ですがバザーにご参加ください

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート2012
2012年3月11日(日)
カトリック桜通教会聖堂
14:30開演 14:00開場
大人 2000円
高校生以下1000円

クロスワードパズル

タテ、ヨコのカギに当てはまる言葉を考えましょう。固有名詞表記は聖書新共同訳参照。

- タテのカギ
① 聖書には、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネによる4つの〇〇〇〇書が収録されている。「神のよき知らせ」という意味。
③ 〇〇〇がイエスに「お前がユダヤ人の王なのか」と尋問するとイエスは、…(ルカ23章)
④ 有能な妻は夫の〇〇〇〇。恥をもたらす妻は夫の骨の腐れ。(箴言12章)
⑤ 〇〇〇：イエスが青年時代までを過ごした街。
⑥ 紀元前5世紀の中頃、エズラと〇〇〇〇がエルサレムに帰国し律法を中心とする共同体の再生に取り組んだ。この頃から律法主義的なユダヤ教が誕生する。
⑧ サムエル記：ハンナは〇〇〇の町へ行って「万軍の主よ、男の子を授けてくださいますなら、その子の一生を主に捧げます」(サムエル記上1)
⑩ 〇〇〇という名前のキレネ(今のリビア)人にイエスの十字架を担がせた。(マタイ27章、ルカ23章)
⑫ 最初の殉教者〇〇〇〇〇〇は「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」この言葉を最後に息を引きとった。(使徒言行録7章)
⑬ 世界宗教：民族をこえて世界で広く信仰されている宗教。〇〇〇〇教、イスラム教、仏教をいう。
⑭ 〇〇〇：イエスの母
⑯ サウルは地に倒れ「サウル、サウル、なぜわたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。サウルという名前はヘブライ語の読みでギリシャ語では〇〇〇となる。(使徒言行録9章)
ヨコのカギ
② 聖書成立などの謎を解くカギといわれている死海文書は1947年〇〇〇〇で発見されている。イザヤ書などの聖書の写本などがあり、イエスの時代の少し前からイエスの処刑のすぐ後の頃のものといわれている。

- ④ ヤコブの子孫がモーセに導かれてエジプトを脱出し、モーセの後継ヨシュアが〇〇〇の地を次々と獲得した。ギリシャ人は〇〇〇を「パレスチナ」(ペリシテ人の地)と呼んだ。
⑥ 紀元後64年ローマ市で大火。皇帝〇〇はキリスト教徒を迫害する。この頃ペトロはローマで殉教。68年〇〇自殺。
⑦ 主の天使が夢でヨセフに現われて言った。「…〇〇〇がこの子を探しだして殺そうとしている…」(マタイ2章)
⑨ ヘブライ語で「まことに」「たしかに」、後に「かくあれ」の意。キリスト教の祈りの終わりに唱える言葉。
⑩ 〇〇〇〇〇〇〇教会は世界に福音を発信する拠点となる。パウロを中心とする世界伝道は合計3回にわたり〇〇〇〇〇〇教会を出発する。(使徒言行録13章)
⑮ ローマ帝国の初代皇帝〇〇〇〇〇ウスがすべてのユダヤ人に録登録の勅令を発した。(ルカ2章)

Grid for crossword puzzle with numbers 1 through 15.

暁の星学園
私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園